

県庁で行われている定例記者会見などから、  
知事の発言や方針を紹介して、県政の新たな動きをお伝えします。

ホームページ「こちら知事室です」に、定例記者会見の  
様子などを掲載しています。ぜひご覧ください。

## 第3期 荒井県政がスタート

このたび、引き続き奈良県政を担わせて  
いただくことになりました。

今回の選挙では県内各地を回らせていた  
だけ、これまで2期8年の取り組みと実績を  
皆さんにお伝えする機会でもありました。

県庁職員がよく市町村に寄り添って、住民  
の皆さんのより近いところで仕事をしてく  
れたこと、また、県庁が積極的に新しい仕事  
に取り組んでくれるようになったことが、私  
の自慢ですと申し上げてきました。そうし  
た市町村と協働して課題解決を図る取り組  
みが「奈良モデル」として認めら

れ、これからも継続してほしいと  
いう声をいただきました。

一方で、地域によってさまざま  
な課題があることを改めて認識し  
ましたので、これからも、地域に寄  
り添って、3期目の奈良県政を推  
進していきたいと思っています。

奈良県政の方向としては、これ  
までも「任んで良し」「働いて良し」  
「訪れて良し」の奈良県を目指して  
いきたいと申し上げてきました。

「任んで良し」では、県内の医療  
改革に全力で取り組み、成果があ  
がってきています。また、本年3月  
に条例を制定し、障害のある人も  
ない人も住みやすい奈良県にして

いきたいと考えています。

「働いて良し」では、仕事の場を創る、とり  
わけ若者に県内で就労していただけるよう  
にすることが、人口減少と少子化に歯止め  
をかける地方創生の最も重要な課題と考  
えており、新しい行政手法も取り入れなが  
ら取り組んでまいります。

「訪れて良し」では、奈良県の豊かな歴史、  
文化、自然を十分生かし、観光・宿泊産業と  
南部東部地域の振興などに、引き続き取り  
組んでいきます。

これからも県民の皆さまと地域に寄り添  
いながら、精一杯、奈良県発展のために尽く  
してまいります。



就任式での知事訓辞



多くの職員に迎えられ初登庁した荒井知事

奈良県知事

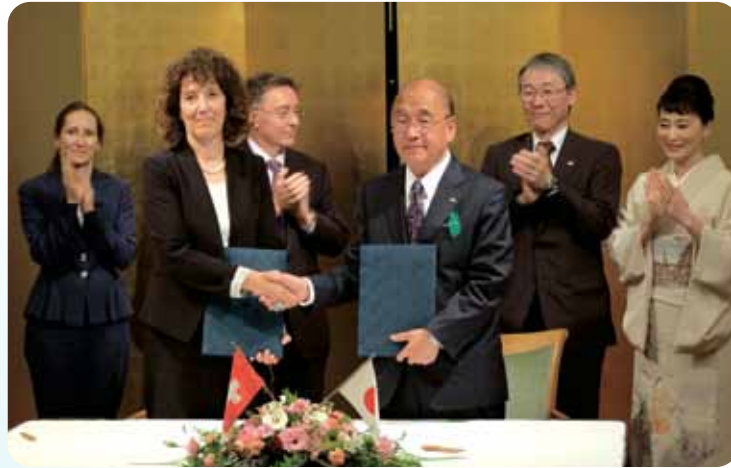
荒井正吾

## ベルン州(スイス)と 友好提携を締結

県とベルン州(スイス)は、4月17日、両県州の友好協力の発展と両県州民の相互理解と友好を深めるため、友好提携を締結しました。

奈良ホテル(奈良市)で開催された友好提携協定書署名式には、県からは荒井知事、山下県議会議長他16人が、ベルン州からはバーバラ・エッガーIIイエンツァー州首相他7人が、また、立会人として、前田隆平在スイス日本国特命全権大使およびウルス・ブーヘル駐日スイス特命全権大使他4人が出席しました。

署名式の後の記者会見で、荒井知事は「林業や観光政策をはじめ、ベルン州の優れたところを学んでいきたい」と述べ、エッガー州首相は「経済、観光、教育等の分野で協力するとともに、文化や人の交流



エッガー州首相(左から2人目)と荒井知事

を進めていきたい」と応じました。

本協定の締結により、県は、環境とエネルギー、林業、情報通信技術、産業クラスター、研究と教育、観光と文化などの分野において、ベルン州と交流を深め、積極的に協力していくこととなりました。

問 県国際課 ☎0742-27-8477 FAX0742-22-1260

## 平成27年度奈良うまし冬めぐり 秋冬商品説明会等を開催

奈良県では、平成26年度より「1300年のこころ見つけました」と銘打って、観光キャンペーンを展開しています。このキャンペーンは、春日大社第六十次式年造替を核として、首都圏から奈良県への観光誘客を目的に広報活動に取り組むものです。

東京都内のホテルにおいて、4月20日、旅行社向けに、秋冬の観光誘客のための「奈良うまし冬めぐり」旅行商品の説明会を、旅行



説明会のようす



プロモーション会のようす

社や雑誌社向けにプロモーション会を開催しました。その後のレセプションでは、旅行社、雑誌社やマスメディアに向け、荒井知事や市町村長が、直接、奈良の魅力を伝えるトップセールスによる誘客推進活動を行いました。

説明会等への参加は、旅行社、雑誌社のべ122社あり、奈良県の観光への関心の高さがうかがえました。

問 県奈良公園室 ☎0742-27-8677 FAX0742-22-7832